



9月1日(金)2学期が始まりました。長かった2学期を過ごしていく上で、皆さんはどんな経験を体験してきましたか。上野校長の話にもありましたが、いろいろな行事をみんなまで経験できたことが重要です。考えがぶつかることもあったでしょう。でも、他人を認めることで自分を認めてもらったり、感謝することで自分の行動を感謝してもらったり。そんないろいろな思い出を残していくこと、互いに「楽しい」「嬉しい」等を分かち合うことで、実感はないかもしれませんが、実はみんなの心が成長し強くなっているのです。集団でのたくさんの体験が一人ではどうしても不足しがちな『心の栄養』を補うこととなり、学生として必要な、学習などの学校生活や普段の生活を主体的に過ごしていくための、大きな力となっているのです。

二学期終業式

3学期はまとめの学期です。3年生にとっては修了の学期でもあります。みんな目標を共有して、達成していく中でしっかり『心の栄養』を採ってほしいものです。

3学期はまとめの学期です

今回の「みはまギャラリー」も二学部生徒の作品展となっています。今回は「第32回国民文化祭・なら2017」「第

「みはまギャラリー」

17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」『全国障害者作品展』に出品した作品を展示しています。高等部2年の前山くろえさんの作品が、「ビッグ幟 in 東大寺マップ」に採用され、東大寺大仏殿前の参道前の両脇に展示されました。

3学期には「かがやき展」もあります。これからも表現することの「楽しさ」と「喜び」を感じてほしいと願っています。



【前山くろえ：春】

第11回きのくにロボットフェスティバル2017

全国小中学校ロボット選手権

【地区予選】

11月11日（土）、に県立紀央館高等学校体育館にて地区予選が行われました。

このとき7チームが日高予選に参加し、「みはまS・T・K」が優勝。「みはまH・M・Y」が3位で本戦に出場できることとなりました。この時、チーム「みはまH・M・Y」の「スイングスピナーⅡ」が『技術賞』をもらっています。

【全国大会】

12月17日（日）、に御坊市立体育館にて全国大会が行われました。

中国からの参加も含めて、日本全国の予選を勝ち抜いた40チームが決勝に集まりました。競技ルールはトーナメント形式で争われ、コート内にある3本のポールに輪投げの要領でプラスチックの輪を投げ込む早さを競いました。

「みはまS・T・K」は玉置悠翔くん、小瀬瑠起くん、清水紘也くんがメンバーで、ロボット名が「スイングスピナーⅠ」。「みはまH・M・Y」は平野琉孔くん、森岡大輔くん、米澤文拡くんがメンバーで、ロボット名は「スイングスピナーⅡ」。両方ともアームに輪を引っかけて飛ばす仕組みのロボットを製作しました。

「みはまS・T・K」は1、2、3回戦と準々決勝をいずれもパーフェクトで勝利。「みはまH・M・Y」も1回戦からパーフェクトで勝ち上がり、準決勝でお互いが対戦することとなりました。ここで「みはまH・M・Y」が勝利。決勝では、ここまで本校の2チームと同じく圧倒的な強さで勝ち上がってきた、三重県から参加の「MUSASHI」チームに見事勝利し、念願の優勝を果たすことができました。

様々な勝因が考えられますが、参加選手の頑張り、それを支えた高等部のみんな、赤松先生のチームワークが1番だったのではないのでしょうか。

皆さん本当におめでとうございました。



